

令和8年度 福田地区まちづくり協議会 事業計画書

1 今年度の目標

- ・ふくだ Net やふくだ LMO 公式ラインをさらに活用し、地域の各種団体やグループだけでなく、町内会・自治会の活動の見える化を図り、福田地域における情報ツールとして確立できるよう取り組みたい。
- ・LMO 設立から3年目に入ることから、設立時の地域課題を再確認するため、ワークショップを開催し、今の地域課題を確認する。それを踏まえて今年度に反映させるとともに、更なる5年後の計画を立てていきたい。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	①防災講座	(26) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__6月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__600__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	防災講座として3つの講座と3回の催事体験型展示会を開催する。 防災講座として、①キッズ防災士の養成講座は小学生を対象に二日間に分けて開催する。②防災サポーター養成講座は、中学生以上を対象とし、年3回に分けて開催する。防災士試験に受験することを目標に講座を開催する。③高齢者対象出前防災講座を今年度も開催する。高齢者とはしているが、どの年代の方が参加されても良いように対応する。 催事体験型展示会は、①8/22 のふくだまつり、②10/3 の福木ふれあいひろば、③10/25 の福田公民館まつりで行う。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 福田地区には多くの土砂災害危険箇所があり、それらの防災対策工事はまだほとんど進んでいない(4カ所のみ)。これに加え、南海トラフ巨大地震が近い将来発生し、福田地区も震度5強以上のゆれに見舞われ大きな被害が出ることが予測されるのみならず、その前後に近隣の活断層の活動による被害地震の発生や芸予地震クラスの地震が予想される。また、大きな地震では地盤の損傷が発生し、大雨時に土砂災害も多発する傾向があるため、地域住民がそうした問題に対応できる知識や体制をつくり、避難訓練などを実施して備える。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) この数年間、地域を挙げての取り組みを進める中で、防災意識が高まり、町内会・自治会単位での体制づくりが進んだ。これを様々な場面で取り組みを進めることで、さらに多くの住民に自然災害についての関心や知識が広まり、防災意識が高まりやすくなるといえる。これを系統的に継続することで地域の防災力が高められ、災害時の共助の体制をより強く大きなものにしていくことができる。	

1 事業名	②砂防ダム建設要望書づくり	(26) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__10__ 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	福田には30箇所を超える土石流危険渓流があり、その中でも住宅地に大きな影響を与えかねない渓流を2019年度に行った町内会別防災マップづくりの資料や野外踏査に基づいて13箇所を選定。これらの渓流の土砂災害危険度の調査資料を添付した資料を広島市・広島県に提出。それに対する県の認定基準に基づいてその中から8渓流を選び、それらの申請順位を福田地区自主防災連絡協議会で検討。当面、1)観音原、2)水晶郷川、3)木ノ宗山麓の計3渓流をこの順で申請を決め、事前調査資料を添付した申請書の準備書面を提出。7年度は観音原について申請書類を提出した。今年度は、水晶郷川について取り組み、申請書類を提出する予定。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 2018年7月の西日本豪雨では福田一丁目で大きな土石流被害が発生し、多くの住民に防災対策の重要性が認識された。そのこともあり、翌年度、福田地区全18町内会・自治会での防災マップづくりが完結した。安全・安心な生活には何より事前防災が重要である。福田地区には30を超える土石流危険渓流があり、防災を重視したまちづくりを進め、令和6年7月に福田まちづくり協議会が発足した際、防災もその大きな柱とされた。堰堤設置には地権者や関係住民の理解が不可欠なので、多くの関係者の意識も高まったこの時期に堰堤設置申請の取り組みを進めることとしたもの。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 破壊的土石流を防ぐことができ、住民生活の安全・安心が確保される。また、土砂災害に対する防災意識を高めることにもつながる。福田地区ではコロナ禍の中でも2022年に防災士会を発足させ、防災の研修・講演や展示、防災マップの改訂作業など、防災に関する取り組みをすすめており、一昨年度は13回、昨年度は18回、防災の諸行事に取り組んでいる。こうした住民自身による防災への取り組みに応える意味でも、ぜひこの事業は迅速に進めたいと思っている。	

1 事業名	③防災マップの改訂	(26) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年4月1日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	<u>50</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	2019 年度に作製した福田地区全体の土砂災害マップを改訂し、全世帯・事業所に配布する。 主な変更点は、特別警戒区域の変更、防災ライブカメラの位置と AED 設置場所の記載、防災気象情報の変更など。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 以下の理由により、土砂災害マップを改訂する必要がある、変更内容について地域住民に広報し、土砂災害の発生前や発生時に適切な避難等ができるようにするため。 1) 西日本豪雨災害で土石流が発生した場所に砂防堰堤が完成し、特別警戒区域が警戒区域に変更になったため。 2) この間、河川の 2 か所に防災ライブカメラが設置されたため。 3) この間 AED の使い方についての理解が広まり、多くの人に所在をわかりやすくするため。 4) 令和 8 年 5 月ころにこれまでの気象警報等が新たな防災気象情報に代わるため。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） より多くの人に周知しやすくなり、災害時に適切な避難等ができるようになる。	

1 事業名	④避難訓練	(26) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (訓練実施日時: 11月29日9時～10時)	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	1000人 (見込み) (町内会・自治会の過半数の世帯の参加)	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	各町内会・自治会単位での地震時の「一時避難場所」を設定した避難訓練を実施する。 防災カードによる受付、安否確認、本部への通報、一時避難場所の開設、防災食の配布等を行って、被害地震時にそれぞれの地域で安全安心な共助体制をつくる。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 近い将来、震度5強以上の被害地震が想定されるため、3年前に策定した避難訓練の5か年計画に沿って準備を進め、地震に備えた共助の体制を町内会・自治会単位で準備する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 昨年度福田地区の全18町内会・自治会の役員レベルで避難訓練が実施され、過半数の町内会・自治会で会員にも呼び掛けた避難訓練を行った。どの組織でも地震時の避難訓練についての意識が高まり、体制づくりも大きく進み、地域の共助体制も整いつつある。この訓練を今後毎年実施しながら体制を強化し、実際の被害地震時に安全安心な地域にしていくことが可能となるといえる。	

1 事業名	⑤学童の見守り活動	(26) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__9年__3月	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__20__ 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	福木小学校の登下校時の見守り活動をしてくださっている学校安全ボランティア員増員に向けて広報活動をする。また、年1回の広島東警察署の方を講師に招いて、学校安全ボランティア員講習会を3月に開催する予定。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 学校安全ボランティア員の方に対して、直接、見守り活動をする上での注意事項などを警察の方に話をしてもらうことで、意識改革および意識向上を図りたい。 また、ボランティア員同士の情報交換会を兼ねることで、日頃の活動中での問題点などを確認したい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 学校安全ボランティア員に向けたマニュアル本を数年前から、社協の方で作成し配布している。その中にも記載はあるが、やはり、現場の警察の方に来ていただき、直接話をしてもらうことで更に理解が深まると思われる。 情報交換会を兼ねた質疑応答でそれぞれが立っている場所での課題点を報告しあうことで、他の場所の現状も把握できる。	

1 事業名	⑥薬物乱用防止の啓発	(26) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>10</u> 月 <u>3</u> 日(土)、 <u>17</u> 日(土) (予定)	
(2) 実施場所	第26回福木ふれあいひろば会場内(福木中学校・福木小学校)及び福田民館まつり会場内	
(3) 参加者数	<u>10</u> 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	地域のイベントで、薬物乱用防止のためのチラシ等を、声かけをしながら配布し、薬物の恐ろしさに対する意識啓発を行う。福木ふれあいひろばでは、中学生ボランティアとともに行う。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 薬物乱用問題は社会や家庭の安定を脅かすなど、深刻な社会問題の一つとなっている。特に、大麻事犯は増加を続け、30歳未満が多くを占めている。 このため、地域においても多くの人に薬物乱用防止に対する意識啓発を行い、明るい地域社会とする必要がある。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 繰り返して啓発活動を行うことにより、地域、家庭、個人の薬物乱用防止に対する意識の浸透が図られ、明るい地域社会の実現を目指す。	

1 事業名	⑦地域パトロール	(26) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	20 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・昨年に引き続き、おさんぽパトロールチラシを配布し、ご自身や犬の散歩の時、買い物の時等、近所へのお出かけ時に緑のビブスを着用し歩いてもらう、無理なくできる“ながらパトロール”への協力をお願いしていく。新規目標10人。 ・福田地区には、様々なパトロール活動をしている団体グループがある。その団体やグループが一堂に会するパトロール会が開催できると、福田地区の防犯対策がアピールできるのではと考え、開催に向けた計画を今年度立てていきたいと思う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 団体やグループに属していなくても、各自が自分の参加できる形の安全パトロールを行うことで防犯への抑止力になり、緑のパトロール員が溢れる安心・安全に暮らせる福田のまちにつなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 福田のまちに緑のパトロール員がたくさんいる状態になることで、犯罪への抑止力になるとともに、無理なくできるパトロール活動なので、たくさんの方に参加してもらいやすいと思う。	

1 事業名	⑧防犯カメラ設置に向けて	(26) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__20__ 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容		
(1) 令和8年度は、地域団体、町内会・自治会での防犯カメラ設置意向の調査や設置にあたっての課題を整理し、まちづくり協議会による課題解決のための支援方策を検討する。 (2) 防犯カメラ設置にあたっての相談や市・区との協議を設ける。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 昨今の凶悪犯罪の頻発、不審者・セールス等の出入りなど、住民の安全確保は重要性を増している。このため、地域団体や町内会・自治会による防犯カメラの設置を促進し、犯罪の抑止を図ることにより、福田地区内の安全・安心な地域づくりを進める必要がある。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 防犯カメラの設置により、犯罪等の抑止が図られ、住民が安全で安心と思える地域づくりが進められる。		

1 事業名	⑨防犯講座	(26) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>5</u> 月 <u>12</u> 日 (火)	
(2) 実施場所	広島市農協福田支店	
(3) 参加者数	<u>40</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	「身近なところに忍び寄る犯罪の被害に遭わないために」の講座を、以下の内容で行う。 1. 特殊詐欺と SNS 型詐欺に注意しましょう 2. 侵入強盗・侵入窃盗に注意しましょう 3. そのほかの身近で起こり得る犯罪にも注意しましょう 講師：元広島県警察本部生活安全部長 J A 広島市保安対策部長 濱本 博志 氏	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 高齢者対象防犯講座を実施し、特殊詐欺に騙されないよう防犯対策を学ぶことで、高齢者が犯罪に合わないよう注意喚起する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） テレビやニュースで報道されているように、特殊詐欺の被害や家に侵入しての凶悪事件が多く起きている。犯罪被害に遭わないように事前に防犯対策を学ぶことができる。	

1 事業名	⑩子ども部希望調査と支援検討	(26) 事業中(10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__30__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	福木学区には、もともと1区～7区までの子ども会があり福木学区子ども会育成協議会を構成していた。しかし13年前くらいから休会という形で単位子ども会が解散していき、現在は福木学区子ども会育成協議会という東区子ども会に属する大元のみ存在している状態。ただ、福田地区では、町内会・自治会の中に子ども部という形で残っている所が2か所ある(原山町内会と大和台自治会)。そこで、町内会・自治会の中で、子ども部を作りたいと考えているところがないか確認し、希望があるようならどのような支援ができるか検討する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) こどもの居場所やこどもの活動の場を創出するため、子ども部を作りたいと考えている町内会・自治会の支援策を検討する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) こどもの居場所が一つ増やせることになる。こども達に横の繋がりだけでなく、縦の繋がりを作れる場所ができるかもしれない。また、町内会・自治会に子ども部を作ること、町内会・自治会へ入会しようとする世帯が増えてくるかもしれない。	

1 事業名	⑪福田盆踊りの継承と活動補助	(26) 事業中(11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__5月__1日 ~ 令和__8年__11月__30日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__120__ 人(見込み) 20人×6回	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	・盆踊りの踊り手や太鼓のたたき手の募集を行う(練習会参加者募集のチラシを配布)。 ・福田盆踊りの練習会を行う。 ・福田盆踊りを地域の祭りや町内会盆踊り、公民館まつり等で披露する。 ・福田盆踊り保存会メンバーを増やしていく(練習会参加者募集チラシ内でのメンバー募集や現メンバーの声掛け)。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 福田の伝統文化の継承を通じて、福田の町の活性化及び郷土愛の醸成を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 福田盆踊りを披露する場を増やすことで、福田の住民の方に盆踊りを知ってもらえることができる。また、福田盆踊り保存会への入会者を増やすことへも繋がる。	

1 事業名	⑫福田の史跡巡り	(26) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__6月__13日(土) と __11月__14日(土)	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__40__ 人(見込み) 20人×2回	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	昨年、福田地区の13の史跡をLMO事務所をスタート地点とし、西コースと東コースに分けて巡る企画を実施した。またそれぞれの史跡説明動画を制作しQRコードを貼り付けた。今年度はその史跡を巡る方法をロゲイニングとして開催。13の史跡に行くことでポイント獲得や史跡に関するクイズに解答して(動画視聴しないと分からない)ポイント獲得など、こどもから大人までゲーム感覚で楽しみながら史跡巡りできるように実施する。 また、史跡の場所等が分かりやすくなるよう、案内板を整備する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 福田の伝統文化の継承を通じて、福田の町の活性化及び郷土愛の醸成を図る。また、史跡巡りをウォーキングとして行うことで住民の健康増進を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 福田地区にはたくさんの史跡がある。小学校のわが町探検の授業では何か所か勉強する。中学校の校歌には銅鐸が入っている。こどもの頃から身近な史跡に更に興味を持ってもらい、自分の故郷として福田のまちを知ってもらおうきっかけになればと考える。	

1 事業名	⑬区長と語る会	(26) 事業中(13) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	<u>50</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	(1) 地域団体や町内会などの地域住民と行政関係者が集い、行政の願いや計画を地域住民に伝える場とするとともに、住民が行政への要望を伝える機会を設ける。 (2) 行政との協働、役割分担などを認識し、要望書提出 ⇒ 意見交換会開催へ ※ 現在、令和7年度としての要望書を提出中。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 福田の地域課題の解決に向けて、行政と福田の住民が地域の問題点を共有し、地域と行政の協働あるいは役割分担によって、住みよいまちづくりに資する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域のまちづくりを進める上での、地域住民の役割、行政の役割が明らかとなり、地域住民の活動が円滑に行われることが期待できる。	

1 事業名	⑭見守りネットワークの構築	(26)事業中(14)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・広島福田郵便局の「みまもりサービス」について講演を行う。「みまもりサービス」とは、郵便局員が一人暮らしの利用者のお宅へ月1回訪問し、会話を通じて生活状況を確認するものである。郵便局員が確認した生活状況は、利用者の御家族へ報告（写真・メッセージ等も可能）している。 ・福田地区見守り活動研修会については、令和8年度は移行期間とする。これまで1月末に開催していたものを6月以降での開催に変更する。町内会・自治会の新会長さんと民生委員との顔合わせを含めて実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・福田地区にある、広銀、農協、郵便局にそれぞれ生活に密着した内容で講演会を依頼し、今年度、郵便局には「みまもりサービス」について話をしてもらうことになった。この地に住んでいなくても様々な見守りの形があることを知ってもらいたい。 ・見守りネットワークがまだスタートしていない町内会・自治会について、少しずつ進めていきたいと考えているため、移行期間ということを活かし、今年は新会長にターゲットを絞って実施することにした。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・こどもが近くに住んでおられない方もたくさんいらっしゃるため、「みまもりサービス」という見守り方があることを知ってもらえる。 ・4～6月に会長が交替する。これまで1月末に開催して、民生委員と顔合わせをおこなっていたが、せっかく顔見知りになってもその後すぐに交代するケースもあり、なかなか事業を進めることが難しかった。新会長と民生委員が顔見知りの関係となり、その後円滑に連携できるようにする。	

1 事業名	⑮ふれあいタクシーの充実・支援	(26) 事業中 (15) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	<u>11</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	(1) 現在実施されている『ふれあいタクシー』の利用者増加をめざす運行計画の見直しや広報活動、運行資金確保のための支援を行う。 (2) 現在、地区内でこのサービスを受けられていないエリアに対するサービス提供のための調査研究を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 起伏の多い福田地域の、主に車を持たない高齢者や子育て世代のための通院や買い物など、暮らしのための移動手段の確保を支援する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 現在運行しているふれあいタクシーは、運行コース上の利用者が増加しつつある。今後一層高齢化が進むことから利用者増が予想され、住民の福祉向上に大きく貢献できる	

1 事業名	⑩高齢者対象交通安全講習会	(26) 事業中 (16) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__10月	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__20__ 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	福田地区の高齢者に向けた交通安全研修を開催する。1回あたり20名程度の参加者で開催予定。講師は広島東警察署に依頼予定。 開催に向けての周知や声掛けとしては、町内会・自治会への回覧チラシ、公民館だより、福田地区老年会連合会など、高齢者の方に見てもらえる方法で広報する。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 高齢者対象交通安全講習会を実施し、車の運転について、または、道の歩き方など、再度安全について学ぶ。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 車を運転する側、歩行者の両方の立場になって交通ルールの遵守を再確認し、交通事故を起こさないため、交通事故に遭わないためにゆとりをもって行動することに繋がる。	

1 事業名	⑰親子農業体験塾	(26) 事業中 (17) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>3</u> 月 <u>31</u> 日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	<u>270</u> 人 (30人×9回)	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容		
4/25 (土) ②ミニトマトの鉢植え栽培体験	10月さつまいも・ピーナッツ収穫と実食	
5/23 (土) ③さつまいも・ピーナッツ	11月⑤玉ねぎの定植	
6月 ①春じゃがいも収穫	11月④秋じゃがいも収穫	
9月 ④秋じゃがいも定植	R9.5 ⑤玉ねぎ収穫	
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） こどもの居場所づくりの一環として、親子で農業体験を通して、こどもの健全な育成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） プランター植木鉢での栽培経験はあっても、なかなか実際の畑で野菜を育てる経験をしている今の子育て世代は少ないと思われる。そこで親子の共同作業、野菜作りを通してコミュニケーションを図り、心身共にこどもの健全な育成に繋がると考える。		

1 事業名	⑱親子で SMILE	(26) 事業中(18) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__240__ 人(見込み)(10組×12回)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	毎月第4木曜日	
4/23 (木) わらべうたベビーマッサージ 5/28 (木) 手形足形アート 6/25 (木) わらべうたベビーマッサージ 7/23 (木) ごろりんスマイルアート 8/27 (木) 発達のお話会 おうちモンテッソーリー おもちゃづくり 9/24 (木) わらべうたベビーマッサージ 10/22 (木) 手形足形アート 11/26 (木) わらべうたベビーマッサージ 12/24 (木) ごろりんスマイルアート 1月～3月はこれから計画		
5 目的・効果		
(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・オリジナルのわらべうたにあわせてベビーマッサージ、親子のふれあいを楽しむヒントを伝える。 ・親子の触れ合いの時間を大切に、ママと赤ちゃんがほっとできる時間を届ける。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・赤ちゃんを育てているお母さんの居場所づくりや他のお母さんとの情報交換の場となる。 ・親子で触れ合う時間を持つことでわが子への関わり方をさらに良い物とするよう考える機会となる。		

1 事業名	⑭ひだまり食堂	(26) 事業中 (19) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__120__ 人 (見込み) (10人×12回)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	毎月第2土曜日 ・福田公民館和室を10:00~14:30で解放 ・その間、カレーライスを食べる人は要予約の上、大人300円、こども100円持参 ・こどもも大人も参加できる。お昼ご飯としての食事の提供については、食材の都合もあるため、その都度メニューを考える。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域の誰でも集まれるまちの食堂として設置したいと考えている。あたたかいご飯を囲みながら、こどもも、大人もふれあいながら、繋がる時間を持つことで福田地区に安心できる場を提供する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) この食堂が集う方たちの安心のひだまりになるように、ひだまりの輪が広がっていく。福田地区に住む安心感と地域の温かみを感じることができる。	

1 事業名	②ふくだまつり	(26) 事業中 (20) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__8月__22日	
(2) 実施場所	ラポーレひろしま駐車場、福田社協駐車場	
(3) 参加者数	1, 100 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・地域団体や商店による屋台などの出店 ・こどもエリアの開催 ・防災の展示コーナー ・ステージ発表 (ダンス・福田盆踊り・バンド演奏・ジャズ演奏等) ・地域内の LMO 周知活動	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 福田地区のこどもから高齢者まで幅広い世代の住民同士がふれあい・集える場となるよう楽しい夏祭りを開催する。また、福田まちづくり協議会 (ふくだ LMO) の地域周知を強化できるよう、祭り開催の周知方法も工夫する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 年齢関係なく、福田の住民の誰もが参加できる場となっているため、幅広い世代の方が集い、祭りを楽しんでもらうことで、福田のまちに楽しいイベントが一つできることになる。	

1 事業名	②①「ふくだ LMO」公式ラインの運営	(26) 事業中 (21) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8__年__4__月__1__日 ～ 令和__9__年 3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	500 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・6の日をふくだLMO公式ラインの日と固定して、1日の福田公民館の日と合わせて、月に4回発信（1日・6日・16日・26日） ・公式ラインの登録者数を目指せ500人！ ・公式ラインにふくだLMO YouTube チャンネル、ふくだ Net ホームページ、ライフサポートふくだ（福田社協）の依頼フォームをリンク付けしている。また、福田地区の各種団体の情報等が見られるものとしているため、各町内会・自治会や各団体が活動をした際には、記事としてアップする習慣をつけてもらう。 ・事業の報告だけでなく、開催案内も配信しており、文章内にURLを付けているため、公式ラインからも申し込みが出来るようにしている。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 福田のまちづくりの情報が見える化して多くの住民に知ってもらうことで、新たな担い手や活動従事者の確保につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 今年度の登録者総数を500人と目標を定め、福田地域においての情報ツールの一つとしてさらに便利に活用できるよう取り組むことで、回らないと言われている町内会・自治会の回覧板による負担を少しでも軽くすることができることが想定される。	

1 事業名	②ピースフラワープロジェクト花育	(26) 事業中 (22) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	①令和8年 4月 1日 ～ 令和 8年 4月 31日 ②令和9年 3月 1日 ～ 令和 9年 3月 31日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	ひろしまフラワーフェスティバルの企画である「ピースフラワープロジェクト花育」に参加するもので、自分たちが育てた花でひろしまフラワーフェスティバル（FF）会場を飾る。そして、フラワーフェスティバル終了後は、花育ボランティアとして参加していただいた方の中で希望される方には花をお渡しし、継続して花を育ててもらうことで、福田の町を花でいっぱいにしようというもの。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 誰もが知っているひろしまフラワーフェスティバルの会場を飾るという目的があることで、花を何のために育てるのが明確で参加しやすいと考え、ひろしまフラワーフェスティバルピースフラワープロジェクト花育に参加することにした。花育に興味を持ってもらい、花を育てることが好きな人同士を繋ぐことで、将来的に花ボランティアグループが活動継続できるようにしたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 福田地区社会福祉協議会の管轄ボランティアグループ、花ボランティアのボランティア員の皆さんも高齢化が進み、だんだんと人数も減少してきている。今回のピースフラワープロジェクト花育活動にも花ボランティアのメンバーが数人参加してくださっているため、花を育てる活動と一緒にすることにより、コミュニケーションが図られ、いずれは花ボラに協力してもらえる、または、新メンバーとなってもらえることを目指したい。	

1 事業名	②福祉講座	(26) 事業中 (23) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(4) 地域住民の生涯学習に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__10月～令和__9年__2月	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__125__ 人（見込み）25人×5回	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	<終活セミナー> 10月平日 「相続のはなし」 広島銀行福田支店に依頼 <介護セミナー> ①11/14（土）在宅介護の実態と「限界点」の判断 ②12/12（土）認知症への対応と予防 ③1/9（土）施設の種類・選択と費用 <認知症サポーター養成講座> 2/13（土）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 誰でもなり得る認知症を含めた介護について学び、お互いに支え合い、認め合える地域づくりを目指すため。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 昨年の続きで行う介護セミナーで、事前に住民にリサーチしたことにより、今更聞けないけど、本当は勉強したい・知りたいと多くの方が思っていたことが分かった。リサーチ結果を基にセミナー内容を組んだこと、その後に認知症サポーター養成講座もあることなど、福祉についてしっかりと学べる環境を作ることができたため、年齢関係なく福祉について学んでいこうという地域にしたい。	

1 事業名	②④世代間交流会	(26) 事業中 (24) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 ～ 令和 <u>9</u> 年 <u>1</u> 月	
(2) 実施場所	福木保育園・げんき保育園	
(3) 参加者数	<u>50</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	保育園の園児と地域の高齢者が触れ合い、交流できる場を以下のとおり開催する。 ①4/30 (木) 福木保育園：こども日の集い ②7/7 (火) 福木保育園：七夕会 ③11/5 (木) 福木保育園：焼き芋会 ④10/30 (金) げんき保育園：ハロウィン会 ⑤1月 げんき保育園：お正月会	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちとの触れ合いから、福木に祖父母が居ないこどもたちもおじいちゃんやおばあちゃんと関わっていく経験をする事ができる。親世代とはちがった深い温かみを経験できる。 高齢者側の立場からも、小さいこどもたちとの触れ合いは、普段の生活では味わえないため、良い刺激になり、元気をもらえと思う。 福田盆踊り保存会の方との交流により、ふくだまつりで福田盆踊りを一緒に踊るコラボ企画が出来る (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 高齢者の方との触れ合いがこども達にとって、優しく受け止めてくれる存在として捉えることで心の落ち着きに繋がると思われる。また、逆に高齢者にとっては小さいこどもとの関りが認知症予防にもなることが期待できる。福田盆踊りのコラボ企画で福木保育園の年長さんたちにも福田の伝承文化の一つである盆踊りを覚えて一緒に踊った経験がいずれ福田の文化伝承活動へと繋がっていくことを期待する。	

1 事業名	㊤スマホ教室	(26) 事業中 (25) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(4) 地域住民の生涯学習に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8__年__4__月__1__日 ～ 令和__9__年__3__月__31__日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__96__ 人 (見込み) 8人×12回	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	年間10回開催	
以下の内容で、スマホ教室を実施する。 ・スマホの不具合や分からないことについての相談 ・スマホ使用にあたっての詐欺や操作上の注意点を学ぶ ・実生活で利用できる楽しいスマホの活用方法を学ぶ		
5 目的・効果		
(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・高齢者の認知症予防や心身の老化防止が期待できる。 ・スマホの有効活用促進が期待でき、ふくだ LMO の広報をスマホを通じて確認してもらえるようになることにつながる。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 参加者による周囲への伝達指導により、スマホへの苦手意識が薄れ、スマホを楽しむ方が多くなってきている。高齢者の認知症予防や、心身の老化防止、スマホの有効活用につながる事が期待できる。		

1 事業名	㊼山登りの実施	(26) 事業中 (26) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>5</u> 月 <u>16</u> 日（土）、 <u>11</u> 月 <u>7</u> 日（土）	
(2) 実施場所	木の宗山、呉娑々宇山	
(3) 参加者数	<u>40</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>福田まちづくり協議会</u>	
4 取組内容	2年目の今年から、年1回は木の宗山に登り、もう1回は他の山に登る。数年かけて、福田の山を全て登り、次のステージを目指す。 ・5月16日（土）ふくだの山に登ろう～春の木の宗山～ ・11月7日（土）呉娑々宇山に登ろう	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 福田の自然豊かな町並みや、草花を楽しみながら山歩きをすることで、住民の心身の健康増進を図る。また、地元の史跡でもある木の宗山に登ることにより、普段住んでいる地元の魅力を感じ、住民の郷土愛を育む。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 福田地区には、地域を囲む数個の山々がある。小学校や中学校の校歌にも名前が入っているほど、住民にとっては馴染みのある山である。その山を歩くことによって健康増進になることはもちろん、山や木や草花、景色をみることで気持ちがリフレッシュできる。また、地域住民同士でのハイキングを通じ、交流することで、地域内の繋がりづくりにもなる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	なし		